

# 肝付町地域創生戦略で目指す取り組みの紹介

**期**間は平成27年度から平成31年度までの5年間で、関係団体と連携して取り組んでいきます。

## ■ 基本目標1：肝付町にしごとをつくり、安心して働けるようにする

本町の基幹産業である第1次産業の経営の安定と商店街の活性化、肝付町ならではの地域の特性を生かした雇用創出を目指します。

- ・新規就農者の負担軽減のためのハウスリース事業の創設
- ・きゅうりやピーマンなどの価格を安定させる取り組み
- ・気象データや映像を使った農業や畜産の推進
- ・CLT(※)の住宅用部材としての製品化及び市場開拓
- ・豊かな農・水産資源を地元で販売できる物産館(直売所)、「海の駅」の建設の検討
- ・商店街へ若者向けの企業を誘致し、活性化を目指す
- ・本町の豊富な自然エネルギー資源を地元で使える仕組みづくり



### ● 主な目標数値

項目	現状	目標
農業粗生産額	20億円	7.5%増
畜産法人数	13法人	15法人
就労者の増(登録事業体)	66人	75人
水揚高	29億	30億
開設事業所数	1社	3社

※ CLTとは

板を繊維に垂直になるように重ねて接着したパネルのことで、これまでの平行に接着した集成材と異なり、強度や耐震性に優れている。町内で製造に取り組んでいる業者があり、本町の林業振興に寄与できると考えられる。

## ■ 基本目標3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚・子育てしやすい環境づくりと子育てコスト軽減に取り組み、出生率の維持、向上を目指します。

- ・不妊に悩む夫婦の医療費負担を軽減する取り組み
- ・県、大隅地域および大学と連携し、産科婦人科医の誘致を図る
- ・パソコンや携帯電話から子育て世代にとって必要な情報をタイムリーに入手できる子育てウェブサイトの取り組み
- ・子育てショートステイ事業の取り組み
- ・妊娠期から子育て期にわたる総合的相談や支援をワンストップで行う子育て包括支援センターの設置
- ・若者の手作りによる出逢いの場の提供
- ・多子世帯軽減(保育料・就学援助費)における所得制限の緩和
- ・条件付給付型奨学金の創設の検討



### ● 主な目標数値



項目	現状	目標
出生数の維持	平成22年～平成26年 499人	平成27年～平成31年 500人
子育てウェブサイト利用者の数	0	500件
子育てショートステイ利用者の数	0	5人/年
出逢いの場の提供数	0	12回/年

■ 問合せ先：町役場 企画調整課 ☎ 0994(65)8422